

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

樽町地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

当施設の担当圏域は、4地区の連合町内会（綱島・樽町・大曾根・師岡）及び5地区の民児協（綱島地区が東西に分かれます）を受け持ち、人口 82,580 人（65 歳以上の高齢者は、約 13,851 人）となる、非常に大きなエリアを担っております。（平成 31 年 3 月現在）

担当圏域の人口は毎年増加し続けて、地域ニーズも多様となっています。そこで、今年度は地域包括システムをより進めていくうえでも、地域との連携を深めることが重要と考え、「ケアプラザができること」をテーマに我々ができることを考え、地域の皆さんと共に活動していくことを目指し、自主事業として「玄関前プロジェクト」を立ち上げ、のれんとベンチを玄関前に置き、気軽によっていただけるように玄関前で地域の方との交流事業を始めました。また、今年度は地域の障害作業所も参加していただき、販売活動を通して、地域の方と交流を図っています。引き続き綱島地区・師岡地区において出張相談を実施し、より身近な地域で相談を行うことができました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

誰もが住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、身近な相談窓口として幅広い相談に応じ、関係機関との密接な連携体制の構築と維持に努めながら相談者と一緒に課題の解決に取り組みました。

さらに、高齢者・障害者の世帯内重複ケースにも対応するため、関係機関との会議（港北区地域自立支援協議会・こうほく高次脳機能障害ネットワーク会議）等にも積極的に参加し、「地域住民」に対する支援という観点を持ちながら、障害系相談機関と円滑に連携して支援を行いました。

また、今年度も綱島地区・師岡地区内での相談対応を行うべく、出張相談実施し、さらに身近で地域密着型の相談窓口としての役割を果たしております。

(1) 適時適切な面接、訪問による相談対応を行うことができました。

30年度総合相談件数 6,373 件（月平均：531 件）

※前年度比 1,067 件増

相談内容に応じて生活支援コーディネーター、地域活動交流のコーディネーターと保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士による包括3職種職員により情報共有し、各々の専門性に基づいて、適時適切に相談援助・情報提供を行いました。

(2) 関係機関との連携

日頃から区役所をはじめとした関係機関との緊密な連携体制が構築出来ています。区役所担当者との連携や指導を仰ぎながら、混乱なく円滑に総合相談や調整等が行えました。

(3) 5地区の民児協への訪問を継続し、各委員との連携強化に努めました。

(4) 各種分野の会議へ地域包括支援センター及び地域交流職員、生活支援コーディネーターが積極的に参加し、関係機関や区内9CPの連携を図りながら、当事者やご家族の負担や不安を抱えさせることなく、効率かつ効果的な課題解決する相談窓口としての対応を行うことができました。

〈主な参加会議として〉

- ・ 高齢者支援ネットワーク
- ・ 認知症連絡会議
- ・ 高齢者虐待防止事業
- ・ 各事業所運営推進会議
- ・ 高次脳機能障害支援ネットワーク会議
- ・ 移動情報センター運営会議 他

(2) 各事業の連携

今年度も、地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援の各職員が連携しながら業務にあたることができました。また、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の関係団体等と共にケース課題の共有や解決方法並びに生活支援等の取組を検討するための「地域ケア会議」を5職種が連携しながら実施しております。

部門間連携

各職員が足並みを揃えて、効率的効果的に職務を遂行するため、毎年職場の年間目標を掲げております。さらに、定例職員会議等で各事業の進捗状況や課題・問題等の情報交換を行い、全職員の相互理解と共通の認識を常に深めながら、連携を図ってまいりました。

(1) 情報共有として

- ・ 事務所ミーティング
- ・ デイサービスミーティング

(2) 施設の運営管理及び業務等の検討の場として

- ・ 運営連絡調整会議
- ・ 協力医ミーティング
- ・ 各部門会議（地域活動交流・地域包括支援センター・デイサービス・居宅介護支援）
- ・ 給食委員会
- ・ 環境整備委員会
- ・ ホームページ委員会
- ・ 保健衛生委員会
- ・ 防災委員会
- ・ 事故防止・再発防止委員会

(3) 主な事業として

- ・ 地域との関わり（各種活動への訪問、会議等への参加他）
（民児協、ひっとプラン、インフォーマル団体他）
- ・ 介護予防支援（ロコモ予防・元気づくりステーション支援・サークル支援
・ 認知症予防・サポーター養成講座等）
- ・ 介護者支援（介護者交流会、高次脳機能障害ネットワーク）

○地域ケア会議の開催ほか

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

(1) 職員体制について

「横浜市地域ケアプラザ事業実施要綱」「地域包括支援センター運営事業実施要綱」「横浜市地域ケアプラザの管理運営に関する協定書」及び介護保険法の諸規程に基づき事業運営・施設管理等実施しました。

また、相談体制の強化を目的に、運営法人が独自に事務所「スペースつなしま」を開設し、平日の出張相談を実施。さらに今年度は師岡地区での出張相談をはじめ、広域エリアを担当する施設として、地域に積極的に出て活動を行いました。

(2) 人材の育成について

研修計画に基づき外部・法人・施設内研修を効果的効率的に実施し、資質の向上及びサービスの充実に努めました。

また、計画以外でも必要なものについては適宜研修を実施し、技術の向上に努めました。

(3) 公正・中立の確保について

・営利目的等は予め禁止し、実施されているイベント内容に気を配り公的施設としての中立に努めました。

・月1回の「貸館受付会」で利用が重なった場合話し合い、譲り合いで調整していただきました。

・相談からのケアマネジャーへつなげる場合は他法人も紹介いたしました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

今年度も、5職種が中心となり、各関係団体等との連携をさらに強化するため「ひとつプラン」の各地区推進委員会や民児協の定例会等に積極的に出席し、地域のネットワーク構築のための支援に努め、情報交換や要援護者の把握や相談ケースの共有を図りながら、日常的な関係を持つことができました。

また、ひとつプラン港北では、各地区では、より積極的な話し合いが重ねられ、テーマごとに分科会やネットワーク会議等が設けられ、具体的な活動へと発展しております。日々行われている地域の活動や会合（ひとつプラン港北・民児協ほか）へ積極的に参加し、計画推進や課題に対する取組みを地域の関係団体の方々と行いながら、さらなる関係構築に努めました。また、地域ケア会議を通じて、地域の現状や課題を共有し、今後の方針等を協議することができました。

(5) 区行政との協働

(1) 地域福祉保健計画推進について

これまで各職員が区役所や区社協の担当職員と連携をとりながら各種活動や推進会議等の支援を地区ごとに行ってきました。それぞれの地区でも計画の具現化がなされています。地域ケアプラザの特性を活かし、区行政と足並みを揃えながら、推進支援に努めました。

(2) 区政運営方針との連携について

今年度も区政運営方針を視野に入れながら、区行政の担当職員と共に各職員がこれまで関わってきた「ひとつプラン港北推進事業」をはじめとする、高齢者、障がい児者、子育て支援を柱に、地域で支え合いながら、安心して暮らせる町を目指した事業実施を行いました。

(3) ひとつプラン港北推進支援

4地区の推進委員会や役員会、事業等に参加し、計画推進の支援を積極的に行いました。

(4) 区政運営方針との連携について

重点事業を中心に、各分野（子育て、障がい、高齢者支援）の支援や事業を実施いたしました。

○高齢者支援・介護予防支援

- ・介護予防普及強化事業の実施
- ・元気づくりステーション運営支援（師岡地区・綱島東地区）
- ・サークル支援（地域の団体や自主グループ等）
- ・認知症サポーター養成講座の開催（中学校、銀行、老人会、町内会など）

○子育て支援

- ・赤ちゃん会
- ・離乳食教室
- ・子育て支援者会場
- ・パパの子育て教室
- ・サークル活動支援 他

○要援護者支援

- ・一人暮らし高齢者見守り事業
- ・要援護者支援（ひっとプラン港北地区計画事業も含む）

○障がい児者支援

- ・こほくなつとも 他

○緑のカーテン植栽と周知活動他

- ・港北オープンガーデンに参加
- ・隣接する「樽町しょうぶ公園」の管理支援。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

○多世代交流強化として、みんなのたまり場ミニ企画「茶道体験」実施→ケアプラザに来館したことのない多世代の方々が参加され、子育て世代、中年女性世代、高齢親子世代等が体験を通して交流できました。また囲碁将棋サロンについては、ボランティア体験や職業体験、学校イベント参加時にも広報を重ね、定期的に5名前後の小中学生も参加するようになりました。

○年3回「パパと一緒に遊みましょう」開催のうちの1回（11月17日開催分）は師岡町会館で開催。→通常師岡からは1組程度の参加でしたが、今回9組参加でした（全19組）

○ケアプラザ全体で「玄関前プロジェクト」を立ち上げ、のれんとベンチを玄関前に置き、気軽によっていただけるように玄関前で地域の方との交流事業を始めました。

○障害児者支援

「こほくからふる」

- ・6月中学生版：オービー横浜：10名（参加者及びボランティア）
- ・10月高校生版：小田原城：9名（参加者及びボランティア）
- ・2月小学生版：上野動物園：7名（参加者及びボランティア）

「たるとも」支援（毎月1回実施）

「にじいろ」支援（毎月1回実施）

「こほくなつとも」参加（2コース）

○子育て支援

「パパと一緒に遊みましょう」

7月：パパと体を使った遊び・親子遊び・イベント情報発信。
講師をP35（パパサンゴ）代表に依頼。76名参加。
11月：パパとミニ運動会・親子遊び・イベント情報発信（師岡町会館に出張開催）
65名参加。
2月：乳幼児の救急法・親子遊び・イベント情報発信。講師を港北消防署綱島出張所
所長に依頼。32名参加。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

○地域にあるコンビニエンスストアなど、日頃ケアプラザを利用しない層も多く立ち
寄る場所への情報発信協力依頼しました。
○当地域ケアプラザのブログや地域で運営しているホームページでの情報発信を継続
しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

○広報紙や港北区社会福祉協議会のボランティアセンターなどでボランティア紹介実
施しました。
○貸館空き情報掲示場所にボランティア情報コーナーを設けて広報を継続しました。
○夏休みに中学生向けボランティア体験を4日間（11名）実施しました。
○貸館利用団体及びデイサービスボランティア団体の活動発表会「たるまち芸術祭」
をきっかけに、披露ボランティア団体を別な施設や地域のサロンへのボランティアに
繋げました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

○担当エリアが広いため、情報が得にくい・届きにくいエリアが生じないように各職員
分担して地域へ赴きました。→5地区民生委員児童委員協議会定例会や地域のサロン
やイベント、老人会等延べ134回訪問。
○ボランティアや貸館利用団体の活動発表会「たるまち芸術祭」開催し、地域住民に
知っていただく機会を提供しました。→ステージ発表（5月26日）及び作品展（5
月20日～26日）実施し、200名来館されました。
○当CPのブログにて事業広報や報告を行っており、更新時やイベント開催前日等に
30件～300件のアクセス数がある。
○地域情報掲示や配架物の更新、当CP貸館利用団体の紹介文掲示の他1階にファイル
も設置。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

これまでどおり5職種が連携しながら地域へのかかわりを持つことができました。地
域包括支援センターとの協働によるチャレンジ百寿健康教室、スリーA支援者養成講
座に参加し、生活支援コーディネーターの役割の周知を図りました。また地域活動交
流事業の園芸講座や多世代交流事業、子育て支援事業にも参加し、関わる地域ボラン
ティアや地区社協役員等に生活支援コーディネーターの役割を周知しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域支援計画・アセスメントシートを更新し、定例カンファレンスで半年ごとに振り返りを実施しました。そこで地区ごとの現状と課題点などを共有し、次年度への方向性を確認しました。

(3) 連携・協議の場

ひっとプラン推進会議・民生委員児童委員協議会定例会・地域のサロン等の活動に参加し、地域の状況把握に努めました。

3地区合同の包括レベル地域ケア会議にて、各地区の見守り状況の共有と、今後見守りについて「今できることから考える」をテーマに協議し、協議体として報告しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

毎月行われている区域の生活支援コーディネーター連絡会、定例カンファにて情報共有を図りました。

港北区生きがい就労支援スポットと区域の生活支援コーディネーターとの連携を図り、ボランティアや生きがい活動へのコーディネートに努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

（1）総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと保健師（看護師）、主任ケアマネジャー、社会福祉士による5職種専門職が常に連携を取りながら業務を行い、地域包括支援ネットワークの構築に向け取り組みました。ひっとプラン港北や民生委員児童委員協議会定例会等への継続的な参加、個別レベル地域ケア会議、包括レベル地域ケア会議の開催により、地域包括支援ネットワーク構築に向けた地域のニーズ把握、他職種連携による地域での見守り体制の構築、チームでの継続的な支援を行うことができました。

〈具体的な取り組み〉

- ・ 地域ケア会議の開催 個別レベル6回 包括レベル2回
- ・ 民生委員・児童委員協議会定例会への参加5地区 計48回
- ・ 「ひっとプラン港北」への参加、推進支援 計37回参加
- ・ 老人会や介護予防サークル等への参加、協力 計83回
- ・ 高次脳機能障害ネットワークへの参加、協力
- ・ 運営推進会議（地域密着型サービス事業所）への参加 計40回
- ・ 区福祉保健センター、区社会福祉協議会との定例カンファレンスによる情報共有、検討12回
- ・ 所内での多職種間の連絡調整会議や包括3職種会議の実施 計18回

②実態把握

樽町地域ケアプラザ担当地域のひっとプラン港北、民生委員児童委員協議会定例会（綱島東・綱島西・樽町・大曽根・師岡町）への参加や、毎月区役所・区社会福祉協議会とともに開催される、ケアプラザ定例カンファレンスなどの場を活かし定期的な情報交換を実施、地域における高齢者の実態の大勢を把握しました。

〈具体的な取り組み〉

- ・「ひっとプラン港北」への参加、推進支援 計37回参加
- ・民生委員児童委員協議会への参加 5地区 計48回
- ・地域ケア会議の開催 個別レベル6回 包括レベル2回
- ・ケアプラザ定例カンファレンスでの情報共有 計12回
- ・インフォーマルサービス情報誌の更新
- ・所内での多職種間の連絡調整会議や包括3職種会議の実施 計18回
- ・大曽根ささえ合いネットワークの会への参加 計2回

③総合相談支援

・相談、訪問事業

地域の身近な相談窓口として高齢者に関するさまざまな相談を受け付け、地域で暮らす住民の生活を支援するための幅広い相談に対応、適時適切に必要な援助・情報提供等を行いました。今年度も綱島地区、師岡地区へのケアプラザ出張相談を継続し、相談件数も増加傾向にあります。

〈実績〉

30年度総合相談件数6,373件（月平均：約531件） ※前年度比1,067件増

・関係機関との連携

区役所をはじめ社会福祉協議会、障害者支援機関、警察、各職能団体、金融機関など関係機関等と必要に応じて連携を図り、身近な相談窓口としてワンストップでの対応に努めました。

〈具体的な取り組み〉

- ・樽町ケアプラザ出張相談（スペースつなしま） 月曜日～金曜日
- ・師岡地区出張相談 毎月 第2火曜日

（2）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見制度や消費者保護等に関する法制度を理解し、区役所、区社会福祉協議会、法律専門職、消費生活センター等と適宜連携し支援を行いました。

・「成年後見サポートネット」への定期的な参加、協力を通じ、日々の権利擁護支援に関わる制度の動向や理解を深めるとともに、他専門職と顔の見える関係の構築に努めました。また、成年後見制度に関する講座、相談会を開催し、権利擁護に関する普及啓発を行いました。

〈主な取り組みとして〉

- ・「成年後見制度・エンディングノートについて」の市民向け講座を開催 14名参加
- ・成年後見サポートネット、成年後見ブロック分科会への参加、協力 計3回
- ・行政書士による無料相談会の開催 相談者2名

②高齢者虐待への対応

・横浜市の実施計画に基づき虐待及び虐待が疑われる相談・通報については地域包括支援センターとしてのネットワークを活用し情報収集を行い、速やかに区役所へ報告、適宜連携をとりながら支援を行いました。区役所と協力し港北区高齢者虐待防止連絡会や港北区虐待防止ネットワーク連絡会を行い、高齢者虐待の早期発見・対応が可能となるよう日頃より関係者間で連携体制の構築に努めました。また、地域の福祉保健に関わる支援者と連携し虐待防止と適切な支援が行えるよう、高齢者虐待防止ハンドブック研修等を通じた普及啓発に努めました。

・養護者支援の一環として、介護者を対象とした「介護者のつどい」を開催し、介護者家族の会と連携を図りながら交流会や介護に関する講座を行いました。

〈主な取り組みとして〉

- ・介護者のつどい 計12回（うち7回は介護に関わる講座を同時開催）
116名参加
- ・虐待防止ハンドブック研修の実施（デイサービスやケアマネジャー向け）
計3回 24名
- ・港北区虐待防止連絡会、介護従事者向け研修への参加、協力。 計2回
- ・港北区虐待防止ネットワーク連絡会の開催 計3回 51名

③認知症

認知症の理解や当事者との接し方などについて、地域の各種団体等（老人会・民児協定期会・学校など）を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。（地域からの要望があれば随時企画して実施しました。）

また今年度は年2回のキャラバンメイト懇談会の他に、地域に向けてのアンケート実施に関する話し合いも2回実施しました。

（1）認知症サポーター養成講座

- ・6月6日 小規模多機能 なの花（地域住民）
- ・10月13日 大曾根会館（大曾根地区社協、大曾根連合町内会、地域住民）
- ・10月17日 師岡町会館（師岡地区社協、ひっとプラン師岡4グループ、地域住民）
- ・11月11日 綱島東小学校イーストフェスティバル（子ども、保護者向け）
- ・11月29日 樽町中学校福祉委員会

（2）キャラバンメイト懇談会他

- ・6月12日 第1回認知症キャラバンメイト懇談会
- ・8月30日 キャラバンメイト打ち合わせ
- ・1月15日 キャラバンメイト打ち合わせ
- ・3月14日 第2回認知症キャラバンメイト懇談会

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

【関係機関との連携体制構築支援】

○ケアマネジャーのニーズ等の把握

- ・事例検討会開催時（3回）にアンケートを用いてケアマネジャーの課題やニーズ把握した。その他、主催でケアマネジャー意見交換会（1回）を実施して意見交換から課題やニーズ把握をした。
- 地域の社会資源の情報収集及び情報提供
 - ・地域のインフォーマルサービス（介護予防活動を含む）や関係機関等の地域資源の情報収集・整理に努め、ケアマネジャーに「～ケアマネジャーのための～港北区インフォーマル情報 2018年度」更新作成してケアマネジャーに情報提供した（毎年更新）。
 - ・民児協定例会に毎回参加して意見交換や情報提供、個別ケースを通じて情報共有、課題やニーズの把握に努めた。
 - ・民児協定例会（5地区）参加回数48回
 - ・ひっとプラン会議（4地区）参加回数37回
 - ・大曾根ささえあいネットワーク情報交換会 参加回数2回
 - ・その他インフォーマルサービス（5地区）83回
- 地域住民や関係機関等に対し、介護保険制度やサービス、ケアマネジャーの役割等について周知をしている
 - 民児協定例会においては随時、民生委員児童委員とケアマネ交流会において周知をした。
- ケアマネジャーと地域の民生委員とのネットワークの構築のための取組み（情報交換会等）が行われている
 - ・インフォーマル組織・関係機関等との意見交換等の場の設定を実施した。民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会（樽町 CP 主催）実施回数5回（年1回定期開催）を実施した。

②医療・介護の連携推進支援

【医療関係との連携体制づくり】

- ケアマネジャーと医療機関等とのネットワーク構築のための取組みが実施できている
 - ・高齢者支援ネットワークにおいて毎月、主任ケアマネジャー連絡会より代表2名が世話人会に参加した。
- 在宅医療連携拠点と連携し、地域の医療・介護連携を推進している（市民向け講演会）
 - ・高齢者支援ネットワーク研修会 実施回数2回
 - ・高齢者支援ネットワーク市民啓発講演会 実施回数1回
 - ・在宅医療部会 参加回数1回
 - ・医師とケアマネジャー懇談会（篠原 CP・城郷小机 CP・大豆戸 CP・樽町 CP 共催）実施回数1回
連携における双方の課題等の情報交換を実施した。
- エリア内の医療機関（医師）を個別訪問し、情報交換等を実施した 訪問回数4回

③ケアマネジャー支援

【相談への支援】

- ・個別電話相談・同行訪問（平均）月65件
- ・サービス担当者会議同行（平均）月16件
- ・地域の困難な個別ケースや地域ニーズを定例カンファで区役所地区担当、区社協地区担当、生活支援コーディネーターと共有し、地域全体の支援に活かしている。

【ケアマネジャー同志のネットワーク構築】

- ・ 樽町ケアサークル「樽町エリア ケアマネカフェ」実施回数 1 回（※後方支援）

【ケアマネジャーの実践力や実践向上支援】

- ・ 樽町地域ケアプラザ事例検討会 実施回数 3 回（※樽町 CP 主催）
- ・ 民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会 実施回数 5 回（※樽町 CP 主催）
- ・ 医師とケアマネジャーとの懇談会 実施回数 1 回（※篠原 CP・大豆戸 CP・城郷小机 CP・樽町 CP 共催）
- ・ 通所介護・通所リハビリピアールシート情報誌の更新・配布（※区内 CP 共催）
- ・ 樽町 CP エリア内で介護予防支援業務に関する研修会及びケアマネ意見交換会 実施回数 1 回（※樽町 CP 主催）
- ・ 地域（区内）のインフォーマルサービス情報誌を配布（※区内 CP 共催）

【主任ケアマネジャー同志のネットワーク構築支援】

- ・ 区内の主任ケアマネジャースキルアップ研修 実施回数 2 回（※区内 CP 共催）

【新任・就労予定ケアマネジャーへの支援】

- ・ 新任ケアマネジャー研修 実施回数 5 回（※区内 CP 共催）

【新任ケアマネジャーのニーズ把握・意見交換会】

- ・ 新任ケアマネ向け情報交換会 実施回数 1 回（※区内 CP 共催）

（４）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 【個別ケース地域ケア会議を開催し、多職種の専門的視点を交えて検討することで、個別ケースの充実、参加者の資質向上、関係職種の連携促進に取り組んでいる】
- ・ 地域ケア会議（包括レベル 2 回・個別レベル 6 回）

（５）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

- 事業対象者・要支援の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントができています。
- 区・区内 CP 共催で、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務研修を開催している（年 1 回）。
- 地域のインフォーマルサービスを把握し、ケアマネジメントの中に活用できている。
- 委託を行う場合は、ケアマネジャーが、適切なケアマネジメントを実践できるよう支援している。
- （実施内容）
 - ・ 地域のインフォーマルサービス（介護予防活動含む）等の情報を提供している。
 - ・ エリア内や委託先居宅介護支援事業所対象に介護予防支援業務に関する説明会を実施している。
- ケアマネジメントの質の向上支援
- エリア内の居宅介護支援事業所及び介護予防プラン作成委託先の事業所を対象に、介護保険制度、横浜市の介護予防・日常生活支援総合事業等について説明会を年 1 回定例で実施している。
- 必要に応じて事業所訪問により情報提供、ケアプラン立案等の相談支援等を実施している。
- 包括プランナー担当：（月平均） 177 件 委託：（月平均） 203 件

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

区役所担当者や包括職員並びに地域交流・生活支援コーディネーターと共に、各地域の特色を活かしながら、介護予防の促進を図りました。

- (1) 地域介護予防活動支援において、講師の派遣調整など介護予防グループの運営に対して継続的に支援を行いました。また地域の状況を見極めながら、地域包括支援システム構築のため、師岡地区に新たな活動拠点（はちみつクラブ）の立ち上げを実施しました。
- (2) 毎月地域の様々な団体活動等へ参加し、健康づくりや介護予防等の体操や情報提供、また地域リハビリテーション支援事業の団体活動への導入、広報誌を通じての啓発を実施しました。
- (3) 講座を入れつつ介護予防グループ間の交流を通して、抱える問題の把握と適切な助言を行いながら、各組織の活性化や継続活動の援助を実施しました。
- (4) ロコモ予防教室を前期・後期の2期で開催し、体操、口腔、栄養に認知症予防の観点を加え介護予防普及啓発活動を実施しました。参加状況に地域格差があるため、ケアプラザ開催以外の場所として今年度は綱島地区で開催しました。
- (5) 地域内にある薬局に協力を依頼し、協同して地域の健康保持・増進に努めました。

【GoGo 健康元気づくり教室の開催】

健康体操・口腔ケア・栄養改善・認知症予防（シナプソロジー・コグニサイズ・音楽療法）・フットケア

前期 4月10日～7月3日（7日間）

会場：横浜市樽町地域ケアプラザ

後期 10月9日～3月12日（7日間）

会場：横浜市綱島地区センター

参加者：延 297名

【スリーA 支援者養成講座】

笑顔で楽しく脳を活性化させて、認知機能低下を予防するレクリエーションを地域で実践して頂く支援者を養成する。

実施日：7月10日・7月24日・7月31日・8月7日

8月21日・8月28日・9月4日・9月11日

会場：師岡コミュニティハウス（トレッサ横浜内）

参加者：延べ64名

○スリーA 支援者養成講座から立ち上がった「スリーA たる」は月一回定期的な開催は出来ている。しかしまだ自主化に向けた活動を継続中である。

【グループ交流会】

樽町エリアで活躍されている体操グループの代表者の介護予防の知識を深めグループ間の交流を図ることを目的とする。

実施日：2月19日

会場：横浜市樽町地域ケアプラザ

参加者：21名

【60歳からの健康生活】

樽町地域ケアプラザ管轄内の60才以上の高齢者および地域住民を対象に健康寿命とロコモ予防の大切さを理解してもらい、ロコモ対策の取り組みを行っていくことの重要性の意識作りとなることを目的とする。

実施日：9月19日

会場：アピタテラス横浜綱島 貸会議室

参加者：7名

【姿勢&ウォーキングレッスン】

ウォーキングの体験を通じて歩く姿勢や歩き方の質を高め、健康維持向上に繋げることを目的とする。

実施日：3月1日

会場：横浜市樽町地域ケアプラザ、しょうぶ公園

参加者：13名

【数独教室】

樽町地域ケアプラザ管轄内の地域住民を対象に数独の体験を通じて認知症予防（脳の活性化）に関心を持ってもらうと共に、男性に興味のある講座を開催し地域活動参加を促すことを目的とする。

実施日：6月1日

会場：横浜市樽町地域ケアプラザ

参加者：25名

【数独教室 第2弾】

目的：同上

実施日：2月21日・3月19日・3月26日

会場：横浜市樽町地域ケアプラザ

参加者：延55名

【地域支援】

- ・体操グループ 訪問回数 11回
- ・サロン 13回
- ・老人会等 11回

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

管理運営に関する基本協定書に基づく「施設の維持保全等」について、次のとおり適正・適切な維持管理に努めました。

(1) 日常的な維持管理等について

- ① 日常清掃業務を専門業者に委託し、清潔で明るい施設づくりに努めました。
- ② 施設の夜間の防火・防犯巡視点検警備を専門業者に委託し、施設の安全に努めました。
- ③ 職員の日常建物設備点検（設備・防火確認簿）により、施設の維持保全に努めました。

(2) 定期的な維持管理等について

- ① 建物管理業務を専門業者に委託し、建物・設備の維持管理を定期的に行いました。
 - ② 施設・設備保守点検業務を専門業者に委託し、施設の維持管理に努めました。
- (3) 上記保守点検等の結果を受けて、修繕等の必要に応じ区と協議し、適時・適切に対応し、施設の維持保全管理等に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

常に「コスト意識」「費用対効果」及び効率的・効果的な運営に心掛け、各種事業等の効率的な運営に積極的に取り組めました。

引続き計画節電等、利用者の協力を得て施設全体で取組み、経費節減効果を生むと共に効率的な施設運営に努めました。

〔主な取組内容〕

- (1) 常に4事業部門が密接に連携し、各種事業等の運営にあたり効率的・効果的な事業運営に努めました。
- (2) 物品類の購入及び各種契約等にあたっては法人経理規程の遵守を徹底しました。
- (3) 環境整備委員会から職員意識の啓発を図ると共に、ご利用者への「節電への協力」等の施設全体で効率的な運営へ積極的に取り組めました。

(3) 苦情受付体制について

法人の定める「福祉サービスに関する苦情解決運営要領」及び「苦情対応事務処理要領」に基づき、苦情の申出や要望等適正・迅速に対応できる体制により、利用者の信頼と安心して利用できる施設づくりに努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時（防犯・防災・その他）に備えた職員体制及び緊急対応等のマニュアルを整備していますが、万が一に備えての危機管理意識の訓練等に努めました。

なお、緊急事態が発生した場合は「緊急時連絡網」や「緊急時対応マニュアル」「事故対応マニュアル」及び「消防計画」等に従って、冷静に行動・対応できるよう定期的に研修や訓練等を実施しました。

〔対応内容〕

消防防災訓練（年間４回実施）

①第１回目防災消防訓練 平成３０年７月２５日（水）１７：１５～実施

②第２回目防災消防訓練 平成３０年１１月２６日（月）１４：００～実施

③第３回目防災消防訓練 平成３０年１１月２６日（月）１７：１５～実施

④第４回目防災消防訓練 平成３１年３月２５日（月）１７：１５～実施予定

〈訓練内容〉・通報・避難誘導訓練・初期消火訓練・AED取扱い訓練・特別避難場所等の理解他

(5) 事故防止への取組について

利用者の安心・安全と信頼性を高めるため、管内の定期巡視による設備の事故防止や区役所からの情報の他、報道されている情報なども活用し、日々注意喚起を行っています。また、日々の朝・夕のミーティング時や定例の研修会等により、事故防止の徹底に取組みました。その他、代表者で行う定例の事故防止・再発防止委員会を開催しました。

また、安全運転の意識向上と万が一の事故対応に全車にドライブレコーダーを搭載しております。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護に関する法令等の遵守徹底を図るため、体制及び取組みとして定期的な研修や朝・夕のミーティング時における注意喚起を日々行い、個人情報漏えい事故防止の徹底に取組みました。

また、「個人情報漏えい防止チェックシート」及び「個人情報保護取扱いに関する誓約書」の提出を活用し、個人情報保護及び漏えい防止対策の徹底を図りました。

(7) 情報公開への取組について

情報公開に関する法令等に基づき、研修・会議・ミーティング等の機会を通じて、職員への意識啓発に取組むと共に、施設情報を積極的に公開し透明性を確保することにより、地域住民の信頼性を高めて頼りになる施設づくりを推進しました。

また、施設内の情報ラウンジに各事業報告・事業計画・予算・決算書及び法人規程や各事業の規程・重要事項等、何時でも誰でも閲覧できるよう公開しています。

(8) 人権啓発への取組について

法人職員が合同で人権について話し合う「法人人権研修」に職員が参加。当事業所だけでなく法人の様々な職種、事業所の職員が相互に人権意識を高める機会となりました。また、研修に参加した職員が事業所内で伝達研修を行い人権の啓発に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

職員及びボランティアが協働して、地球環境にやさしいゴミ減量化・資源のリサイクル化・省エネ化・緑化推進等の環境問題に積極的に取り組んできました。

〔取組内容〕

- ・日々の節電・節水対策及び省エネ化意識の推進に取り組めました。
 - ・「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、ゴミの分別・減量化・資源リサイクル化対策の推進に取り組めました。
 - ・自主事業「園芸講座」を定期的に開催すると共に緑化推進事業と連携して、福祉と環境を結び付けたボランティアの育成及び緑化活動推進のネットワーク拡大に努めました。
 - ・隣接する「樽町しょうぶ公園」の花壇の手入れや清掃活動等職員とボランティアが公園愛護会と連携し環境等への配慮に取り組めました。
- また、引続き緑化対策及び節電対策の一環として、今年度も「緑のカーテン」を施設全体に拡大し、節電効果を高めることにより環境等への配慮に積極的に取り組めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

《職員体制》

- ・ 管理者 1名 (包括支援センター主任ケアマネジャー兼務)
- ・ 担当者 専任職員7名 (非常勤7名)
兼務職員6名 (包括支援センター 社会福祉士・主任ケアマネジャー・
看護師・保健師)
- 事務職員1名 (非常勤)

《目標(取組、達成状況)》

- (1) 要支援状態の軽減、要介護状態になるのを予防するためご本人やご家族を尊重しながらもご自身の機能が生かせるようにケアプランの作成を行った。
- (2) 介護予防支援ケアプランに沿ったサービスが適切に実施できるよう各事業所・医療関係・福祉関係者等の連携に努めた。
- (3) 個人情報取り扱いに厳重に注意し、郵送・FAXなどはダブルチェックを徹底して行った。
- (4) 機能回復訓練などの高齢者本人へのアプローチだけではなく、地域づくりなど的高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれたアプローチができるように介護予防事業を見直した。
- (5) 年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人との繋がりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進に努めた。
- (6) リハ職等を活かした自立支援に資する取組を推進し、介護予防を機能強化に努めた。

《目標に対する成果等》

- 事業対象者、要支援者の主体性・意欲を引出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントに努めた。
- プランの中にフォーマルサービス以外の地域のインフォーマルサービス等を取り込み、地域の特性を活かした支援に努めた。
- 委託を行う場合はケアマネジャーが、適切なケアマネジメントを実践できるよう随時支援した。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- ・ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについては、原則として負担なし。
- ・ 事業者の担当地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いが必要。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・ 高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ
- ・ 要支援状態がそれ以上に悪化しないように改善、維持、悪化の遅延を図る
- ・ 生活上の様々な課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行うことにより、要支援状態の予防やその重症化の予防、改善を図る。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
370	367	365	361	373	386
10月	11月	12月	1月	2月	3月
390	394	397	394	395	414

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤 3 名

《目標に対する成果等》

- (1) 横浜共生会の基本理念である「人間としての尊重、自由と人権とプライバシーの尊重」に努め、利用者・家族の立場に立った、適切できめ細かいサービスの提供に努めました。
- (2) 計画的に研修に参加し能力向上に努めると共に、法令を遵守した公正・公立・中立な居宅サービス計画の作成を実施しました。
- (3) 行政、地域包括支援センター、医療機関、他サービス事業所など多職種との連携・協働に努め、利用者様が地域で生活できるよう支援いたしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・同一法人内でのケアマネジャー会議を隔月開催し、幅広い情報共有・意見交換に努めました。その中で倫理研修や専門性の向上に向けた研修を実施し自己研鑽に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
6 2	6 3	7 4	7 5	7 9	8 0
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
7 9	7 6	7 7	7 5	7 2	8 2

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス計画書作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常生活動作）
- 健康状態の確認・送迎・入浴・食事等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 ※入浴される方は別途約54円かかります。

（要介護1）	764円
（要介護2）	892円
（要介護3）	1,024円
（要介護4）	1,157円
（要介護5）	1,290円
- 食費負担 750円
- リハビリパンツ（1枚） 100円（使用分のみ）
- パット（1枚） 30円（使用分のみ）

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:00 ~ 16:15（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、看護職員6名、介護職員27名、送迎運転手11名、事務職員1名の計50名の職員が在籍し、1日22名程の職員が出勤しております。

《目標に対する成果等》

今年度は「あなたが受けたいサービス、機能訓練の強化」を目標に、相談員、看護師、介護職員、送迎員が情報共有しながら、ご利用者様の立場になり相手の気持ちを考えながら業務に取り組んできました。情報共有として毎朝、目標を意識するような内容を唱和し、スタッフへの意識付けを高めました。その方が何を求めているのか、不快に思っていないかなどを考えながらご利用者様と触れ合って対応してきました。送迎に関しても快適な運転に努め、急発進・急ブレーキ・急ハンドルはしないように意識を高めました。また、朝のあいさつでも笑顔で大きくすることを意識し、当たり前前を当たり前にしてきました。目標を設定した当時は自分が実際に介護サービスを受けることになった時にしてほしいサービスとして、色んなことに気づいて欲しいという意見があり、ご利用者様に対し気付けるよう気配り目配りを意識していた。機能訓練の強化としてシナプソロジーにより脳の活性化に繋がったと思います。認知症の方の症状が軽減されたなどは目に見える成果はないが、最後に反省点では毎年出ていることですが、目標を意識していない、目標が何かわからなかったと意見があり、来年度も課題となり、1年間忘れないような対応としていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・毎朝の唱和にて目標の意識付けをした。
- ・シナプソロジーの定着化
- ・安心して過ごせるように、御家様・ご利用者様・ケアマネジャーからのご意見やご要望に耳を傾け可能な限り対応できるように努めてきた。

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス計画書作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常生活動作）
- 健康状態の確認・送迎・入浴・食事等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 ※入浴される方は別途約54円かかります。

（要介護1）	764円
（要介護2）	892円
（要介護3）	1,024円
（要介護4）	1,157円
（要介護5）	1,290円
- 食費負担 750円
- リハビリパンツ（1枚） 100円（使用分のみ）
- パット（1枚） 30円（使用分のみ）

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:00 ~ 16:15 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、看護職員6名、介護職員27名、送迎運転手11名、事務職員1名の計50名の職員が在籍し、1日22名程の職員が出勤しております。

《目標に対する成果等》

今年度は「あなたが受けたサービス、機能訓練の強化」を目標に、相談員、看護師、介護職員、送迎員が情報共有しながら、ご利用者様の立場になり相手の気持ちを考えながら業務に取り組んできました。情報共有として毎朝、目標を意識するような内容を唱和し、スタッフへの意識付けを高めました。その方が何を求めているのか、不快に思っていないかなどを考えながらご利用者様と触れ合って対応してきました。送迎に関しても快適な運転に努め、急発進・急ブレーキ・急ハンドルはしないように意識を高めました。また、朝のあいさつでも笑顔で大きくすることを意識し、当たり前前を当たり前にしてきました。目標を設定した当時は自分が実際に介護サービスを受けることになった時にしてほしいサービスとして、色々なことに気づいて欲しいという意見があり、ご利用者様に対し気付けるよう気配り目配りを意識していた。機能訓練の強化としてシナプソロジーにより脳の活性化に繋がったと思います。認知症の方の症状が軽減されたなどは目に見える成果はないが、ご利用者様が楽しく取り組んでいます。最後に反省点では毎年出ていることですが、目標を意識していない、目標が何かわからなかったと意見があり、来年度も課題となり、1年間忘れないような対応としていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・毎朝の唱和にて目標の意識付けをした。
- ・シナプソロジーの定着化
- ・安心して過ごせるように、御家様・ご利用者様・ケアマネジャーからのご意見やご要望に耳を傾け可能な限り対応できるように努めてきた。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
122	148	138	164	151	154
10月	11月	12月	1月	2月	3月
159	166	153	153	146	171

平成30年度「横浜市榊町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,665,000	0	17,665,000	13,687,094	3,977,906	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	151,400	△ 151,400	
雑入	0		0	16,495	△ 16,495	
印刷代	0		0	6,730	△ 6,730	
自動販売機手数料			0	9,765	△ 9,765	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理充充分)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	21,252,500	0	21,252,500	17,442,489	3,810,011	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,000,000	0	10,000,000	11,340,273	△ 1,340,273	
本俸	6,464,000		6,464,000	7,291,313	△ 827,313	
社会保険料	1,138,000		1,138,000	1,272,085	△ 134,085	
手当計	2,200,000		2,200,000	2,583,245	△ 383,245	
健康診断費	25,000		25,000	23,691	1,309	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	173,000		173,000	169,939	3,061	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,233,000	0	1,233,000	1,689,603	△ 456,603	
旅費	5,000		5,000	0	5,000	
消耗品費	250,000		250,000	173,996	76,004	
会議賄い費	2,000		2,000	0	2,000	
印刷製本費	14,000		14,000	15,665	△ 1,665	
通信費	358,676		358,676	515,046	△ 156,370	
使用料及び賃借料	4,200	0	4,200	4,200	0	
横浜市への支払分	4,200		4,200	4,200	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	267,729	△ 217,729	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	90,000		90,000	85,686	4,314	
職員等研修費	5,800		5,800	700	5,100	
振込手数料	40,000		40,000	105,531	△ 65,531	
リース料	100,000		100,000	358,722	△ 258,722	
手数料	324		324	0	324	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	313,000	0	313,000	162,328	150,672	
事業費	331,000	0	331,000	531,539	△ 200,539	
運営協議会経費	42,000		42,000	74,480	△ 32,480	
指定管理料充当 事業	289,000		289,000	457,059	△ 168,059	
管理費	5,301,000	0	5,301,000	6,032,258	△ 731,258	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	2,540,900	0	2,540,900	3,649,369	△ 1,108,469	
電気料金	752,000		752,000	0	752,000	
ガス料金	482,000		482,000	0	482,000	
水道料金	1,306,900		1,306,900	0	1,306,900	
清掃費	1,508,000		1,508,000	1,507,919	81	
修繕費	474,000	0	474,000	83,594	390,406	
機械警備費	69,000		69,000	68,803	197	
設備保全費	615,100	0	615,100	614,042	1,058	
空調衛生設備保守	219,000		219,000	218,352	648	
消防設備保守	48,000		48,000	47,780	220	
電気設備保守	31,700		31,700	31,609	91	
害虫駆除清掃保守	30,600		30,600	30,580	20	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	285,800		285,800	285,721	79	
共益費	94,000		94,000	108,531	△ 14,531	
その他	0		0	0	0	
公租公課	800,000	0	800,000	907,221	△ 107,221	
事業所税			0	0	0	
消費税	800,000		800,000	907,221	△ 107,221	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	17,665,000	0	17,665,000	20,500,894	△ 2,835,894	
差引	3,587,500	0	3,587,500	△ 3,058,405	6,645,905	

自主事業費収入	289,000		289,000	151,400	137,600	自主事業への参加料等
自主事業費支出	289,000		289,000	457,059	△ 168,059	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 305,659	305,659	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市榊町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	39,576,000	0	39,576,000	39,367,219	208,781	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	9,765	△ 9,765	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,765	△ 9,765	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0		0	
収入合計	45,516,000	0	45,516,000	45,316,984	199,016	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	41,367,000	0	41,367,000	40,345,586	1,021,414	
本俸	21,087,000		21,087,000	20,677,000	410,000	職員本俸
社会保険料	5,423,000		5,423,000	5,141,760	281,240	健康保険料、厚生年金料等
手当計	13,312,000		13,312,000	13,147,655	164,345	
健康診断費	72,000		72,000	64,056	7,944	職員健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,473,000		1,473,000	1,315,115	157,885	職員退職給付引当金
その他	0		0	0	0	
事務費	1,527,000	0	1,527,000	1,662,859	△ 135,859	
旅費	30,000		30,000	35,450	△ 5,450	事業・会議等交通費
消耗品費	260,000		260,000	237,558	22,442	事務消耗品等
会議賄い費	11,000		11,000	0	11,000	地域ケア会議等お茶
印刷製本費	14,000		14,000	16,710	△ 2,710	封筒印刷
通信費	200,000		200,000	445,693	△ 245,693	電話・郵送料等
使用料及び賃借料	4,200	0	4,200	4,200	0	
横浜市への支払分	4,200		4,200	4,200	0	自販機設置使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	465,834	△ 455,834	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	66,000		66,000	65,473	527	賠償責任保険
職員等研修費	80,000		80,000	58,270	21,730	研修受講料、交通費
振込手数料	28,000		28,000	105,531	△ 77,531	消耗品等支払振込手数料
リース料	33,000		33,000	32,240	760	会計ソフト等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	790,800	0	790,800	195,900	594,900	保健衛生費、修繕費、保守料、車輛保険料等
事業費	1,136,000	0	1,136,000	1,035,910	100,090	
協力医	630,000		630,000	525,000	105,000	
指定管理料充当 事業（包括）	46,000		46,000	85,031	△ 39,031	民児協とケアマネ懇談会等事業費
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	145,985	5,015	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	279,894	29,106	
管理費	1,486,000	0	1,486,000	1,603,505	△ 117,505	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	751,300	0	751,300	970,085	△ 218,785	
電気料金	222,300		222,300	0	222,300	
ガス料金	153,000		153,000	0	153,000	
水道料金	376,000		376,000	0	376,000	
清掃費	401,000		401,000	400,839	161	日常清掃、定期清掃
修繕費	126,000		126,000		126,000	
機械警備費	18,300		18,300	18,289	11	機械警備
設備保全費	164,400	0	164,400	163,222	1,178	
空調衛生設備保守	59,000		59,000	58,042	958	空調機器保守点検、年間保守
消防設備保守	12,700		12,700	12,700	0	消防設備点検
電気設備保守	8,500		8,500	8,402	98	電気設備保守点検
害虫駆除清掃保守	8,200		8,200	8,128	72	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	76,000		76,000	75,950	50	エレベーター、自動ドア等保守点検
共益費	25,000		25,000	29,685	△ 4,685	年間ごみゼロルート回収経費
その他	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	45,516,000	0	45,516,000	44,647,860	868,140	
差引	0	0	0	669,124	△ 669,124	

自主事業費収入	0		0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	510,910	△ 510,910	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 510,910	510,910	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市樽町地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	10200	12498	-2298	13000	11931	1069	75500	88375	-12875			0	
	その他	12750	42560	-29810	550	2227	-1677	22135	18751	3384	8065	10263	-2198	
	介護予防ケアマネジメント費	12750	42560	-29810	350	2086	-1736			0	6500	8728	-2228	
	事業・負担金収入			0			0	11200	10862	338	800	755	45	
	認定調査			0	200	141	59			0			0	
	食費収益			0			0	7735	7889	-154	765	780	-15	
				0			0			0			0	
	その他			0			0	3200		3200				0
	収入合計(A)		22950	55058	-32108	13550	14158	-608	97635	107126	-9491	8065	10263	-2198
	支出	人件費	10500	48737	-38237	12000	13846	-1846	81618	86210	-4592			0
事務費		1300	4345	-3045	550	685	-135	7650	16908	-9258			0	
事業費		23	654	-631	130	61	69	16220	20639	-4419			0	
管理費		180	1580	-1400	690	88	602	6393	8978	-2585			0	
その他		9300	10460	-1160	0	0	0	2800	2470	330	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0			0			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料		9300	10460	-1160			0			0			0	
利用者等外給食費				0			0	2800	2470	330			0	
				0			0			0			0	
			0			0			0			0		
その他			0			0			0			0		
支出合計(B)		21303	65776	-44473	13370	14680	-1310	114681	135205	-20524	0	0	0	
収支 (A)-(B)		1647	-10718	12365	180	-522	702	-17046	-28079	11033	8065	10263	-2198	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市榎町地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボラリーグこうほく	地域学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	4名		包括						
	0円		介護						
			生活						
学生職業体験受入	地域学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	14名		包括						
	0円		介護						
			生活						
草木染め体験教室	地域住民	29457	地活	24057	5400	0	5400	19057	5000
	24名		包括						
	300円(手ぬぐい使用者のみ)		介護						
			生活						
港北区高齢者虐待防止ネットワーク連絡会	区内介護保険事業者	0	地活		0	0	0	0	0
	51名		包括	0					
	0円		介護						
			生活						
港北区高齢者虐待防止ハンドブック活用研修	区内介護保険事業者	0	地活		0	0	0	0	0
	24名		包括	0					
	0円		介護						
			生活						
師岡民児協とケアマネジャーとのランチ交流会	師岡民生委員・児童委員・ケアマ	21150	地活		0	0	0	0	21150
	40名		包括	21150					
	0円		介護						
			生活						
基礎から学ぶ剪定講座	地域住民	33102	地活	27102	6000	0	6000	0	27102
	6名		包括						
	1000円		介護						
			生活						
福祉まつり	地域住民	77086	地活	37086	0	20000	0	50000	27086
	330名		包括						
	0円		介護						
			生活	20000					
行政書士による成年後見・遺言・相続無料相談会	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	2名		包括	0					
	0円		介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに「自主事業別計画書単表」に記載してください。欄が足りない場合はシートごとコピーして使用ください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市地域樽町ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなのたまり場	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 子どもから高齢者まで誰もが集える世代間交流サロン。参加者同士の交流及び悩みや不安を解消できる場として活用してもらう。</p> <p>【実施内容等】 フリースペース（入退出自由） 7月に夏祭り・12月にクリスマス会を実施 今年度は、より多世代交流が図れるよう、10月にミニ企画として茶道サークル「好日会」による茶道体験を実施。</p>	<p>1回/月（第1水曜） 7月・12月は別に特別企画実施</p>
囲碁将棋サロン	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 閉じこもり予防や介護予防、また世代間交流を目的に、囲碁将棋を通じて交流を深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 入退出自由で対局していただく 囲碁将棋ボランティアに常時いていただき、一人で来ても対局できる体制を維持</p>	<p>1回/月（第2水曜）</p>
介護者のつどい	<p>【対象者】 高齢者、障害者</p> <p>【目的】 介護者同士が近況や思いを気兼ねなく話せる場を設定することにより、介護者の負担軽減を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 介護者同士での話し合いや交流 今年度は2か月に1回程度、介護に関するミニ講座を開催（4月福祉用具の紹介・体験会、6月誤嚥予防・介護食の紹介、7月成年後見・エンディングノートについて、8月在宅医療について、10月お薬について、12月紙おむつの紹介・あて方について、2月高齢者施設について）</p>	<p>1回/月 （原則第3土曜）</p>
樽町なるほど園芸教室	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 屋上庭園などを活用して、植物の栽培や手入れ方法を講義と実践を交えて行う。閉講後はOB会の「ガーデンサークルほほえみ」への加入を促進し、ボランティア活動へのきっかけとしてもらう。</p> <p>【実施内容等】 春夏編：3月～7月全5回　秋冬編：8月～12月全5回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭の設計について ・庭園プランターの植え替え ・寄せ植え作り ・樹木の剪定方法 ・園芸福祉やボランティア活動について 他 	<p>春夏編：月1回 （3月～7月） 秋冬編：月1回 （8月～12月）</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあい広場花しょうぶ	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 綱島・樽町・大曾根・師岡各地区の保健活動推進員による、一般高齢者等を対象としたミニデイサロン。</p> <p>【実施内容等】 綱島・樽町・大曾根・師岡各地区の保健活動推進員が輪番制により、毎月企画運営。 ・茶話会 ・地域の活動団体による演芸 ・体操 ・その他</p>	1回/月（第4金曜）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガーデンサークルほほえみ	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 園芸講座卒業生による自主グループ。庭園の手入れや隣接するしょうぶ公園内管理支援等の活動。</p> <p>【実施内容等】 施設内庭園・菜園や隣接公園の手入れ ※港北オープンガーデンにも参加</p>	2回/月（第1・3木曜） 8月と12月～3月は1回/月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニ樽サロン	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 地域の居場所として精神障害をお持ちの方を対象にサロンを実施。昼食や喫茶、ゲーム等を行う。</p> <p>【実施内容等】 ・昼食やレクリエーションを中心に実施。また、年に数回演奏会やクリスマス会等の企画も実施。</p>	1回/月（第1木曜）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
童謡の会びよびよくらぶ	<p>【対象者】 乳幼児</p> <p>【目的】 童謡を歌いながら、親子で楽しい時間を過ごしてもらおう。</p> <p>【実施内容等】 参加者同士で歌ったり、手遊び等を交えながら交流を深めてもらう。 前期：4～9月／後期10月～3月 前後期でそれぞれ参加メンバーを募集</p>	1回/月（第2金曜）

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
放課後サークル たるとも	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 樽地区社協が主催で、樽町在住の個別支援級に通う児童を対象に、放課後の余暇活動を行う。参加児童やその保護者同士での交流を通じて、ボランティアも含めた双方の顔の見える関係を構築してもらう</p> <p>【実施内容等】 毎回体操や工作、調理など子どもたちが主体となって活動をしてもらう。 ・季節行事（節句・七夕・お雛様作り） ・調理実習 ・体操、ストレッチ ほか ・8月はOB・OGと家族も含めた特別企画を実施</p>	1回/月（第2火曜）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防サークル 支援	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 介護予防事業OB会の体操グループ。一般高齢者等を対象とした地域の自主活動グループの支援を行う。</p> <p>【実施内容等】 「すみれのびのび体操」 「さわやか」 「はなみずき会」 「師岡いきいき体操」（師岡民児協） 「大曾根らくらく体操」（大曾根保活） 「はっらつ体操」（網島上町：グリーンサラウンドシティ 網島） 各サークルの活動支援</p>	団体により1回～2回/月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
にじいろ	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 幼少時から学齢期の中に転落や交通事故等により、高次脳機能障害等と診断された方々への地域での支援を行う。グループの立ち上げ支援と交流企画の調整などを行いながら、自主グループ化をねらう。</p> <p>【実施内容等】 レクリエーション（スポーツや調理など） ・ストラックアウト、ボッチャ、グランドゴルフ他</p>	2回/月（第2・4土曜）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
たるまち芸術祭	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 日頃、貸館の利用やボランティアとして活動している団体様向けに、活動発表の場を提供し、地域とのつながりを強めてもらう。また、各種団体の方々の生き甲斐や意識の高揚の場としても活かしていただく。</p> <p>【実施内容等】 5月26日 活動団体ステージ発表 5月20日～26日 作品展示</p>	1回/年（5月）

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こうほくからふる	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 地域の余暇活動のニーズに応えるべく、区内CP 6館が合同で個別支援級に通う児童生徒を対象に開催。 毎回、対象年齢を分けることで、一人でも多くの参加を促す。</p> <p>【実施内容等】 毎回、対象学年を設定し、年代にあった余暇活動を行う。 (小学校・中学生・高校生) ・6月中学生版：オービィ横浜 ・10月高校生版：小田原城 ・2月小学生版：上野動物園</p>	3回/年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
樽町民児協とケアマネ懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと樽地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】 ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他</p>	1回/年(5月)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
綱島西民児協とケアマネ懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと樽地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】 ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他</p>	1回/年(5月)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
事例検討会	<p>【対象者】 港北区エリアを担当するケアマネジャー</p> <p>【目的】 実際の事例を通じ、その関わり方や効果的な支援方法などを、その根拠も挙げながら学び合うことを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 スーパーバイザーを招き、事例提供者から事例紹介後、グループワークを実施。スーパーバイザーから講評もいただく。</p>	3回/年(5月・9月・1月)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症キャラバンメイト懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザのキャラバンメイト</p> <p>【目的】 キャラバンメイト同士で定期的に顔の見える関係を作ると共に、今後の取り組みの方向性について検討する。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動状況報告 ・意見交換 	2回/年（6月・3月）
港北区の主任ケアマネジャースキルアップ研修「課題整理総括表～Part2～」	<p>【対象者】 港区内主任ケアマネジャー</p> <p>【目的】 主任ケアマネジャーならではの役割を果たしながら、地域包括支援センターと効果的に協働するために、主任ケアマネジャー同志のネットワーク構築、及びスキルアップを目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題整理総括表について演習 ・主任ケアマネジャー同志で意見交換 	1回/年（5月）
網島東民児協とケアマネ懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと樽地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】 ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他 	1回/年（7月）
パパと一緒に遊びましょう	<p>【対象者】 乳幼児</p> <p>【目的】 親子遊びや参加者同士の情報交換を通じて、父親の育児参加や地域活動の参加についての重要性を理解してもらう。</p> <p>【実施内容等】 港北区役所子ども家庭支援課の保健師及び5地区の主任児童委員の協力のもと実施。 7月：パパと体を使った遊び・親子遊び・地域のイベント情報の発信 11月：ミニ運動会・親子遊び・イベント情報の発信（会場：師岡町会館） 2月：乳幼児の救急法・親子遊び・イベント情報の発信</p>	3回/年（7月・11月・2月）

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパのがっこう	<p>【対象者】 乳幼児～小学生の子どもとその父親</p> <p>【目的】 地域子育て拠点どろっぷで立ちあがったパパサークルP35（パパサンゴ）による活動の一つで、当地域ケアプラザ主催事業「パパと一緒に遊びましょう」の参加後、さらに地域と繋がるステップアップ先の一つとして協力。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パパの心得&スゴワザ講座」と題し、マジックやバルーンアートを学び、子どもとの交流ツールとして役立てる内容。 ・パパ同士の交流を図るためのアイスブレイクや講座 	3回/年（8月・12月・3月）
大曽根民児協とケアマネ懇談会	<p>【対象者】 樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと樽地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】 ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他 	1回/年（7月）
こうほくなつとも	<p>【対象者】 障害者</p> <p>【目的】 障害児を対象に、夏休みの期間、多種多様な経験をする機会の提供。</p> <p>【実施内容等】 各コース1日又は2日間に渡って、参加者とボランティアがペアを組み、余暇活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町コース 調理（オリジナル丼）傘袋ロケット工作 ・城郷小机コース 1日目：調理（オリジナル丼）傘袋ロケット工作 2日目：音楽療法の先生による楽器演奏体験 事前にボランティア向けのコース別説明会を実施 	7月（2日）、 8月（1日）
学生ボランティア体験受入	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 地元の樽町中学校生徒をはじめとした、地域の学生（小中高大学）のボランティア体験を通じて、地域の福祉や保健に関する啓発や理解を深めてもらう場の提供。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疑似体験（車いす・議事装具体験、送迎車試乗等） ・ケアプラザやボランティアについての講義 ・デイサービスでのボランティア体験 	延べ12回/年 随時受入

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボラリーグこ ほく	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 区内在学、在住の中学生、高校生、大学生、専門学生及び区外の学生を対象とし、ボランティア体験の機会を提供する。</p> <p>【実施内容等】 事前オリエンテーションを受けた学生を受け入れ ・当ケアプラザについて、デイサービスについて講義 ・デイサービス体験</p>	2回（8月）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
学生職業体験受 入	<p>【対象者】 子ども</p> <p>【目的】 地域の学生の体験学習への協力を通じて、地域の福祉や保健に関する啓発や理解を深めてもらう場の提供。</p> <p>【実施内容等】 ・オリエンテーション：職業とは ・デイサービスの職業体験</p>	延べ3回/年 随時受入
事業名	目的・内容	実施時期・回数
草木染め体験教 室	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 子どもから高齢者まで、楽しく交流を深めながら参加してもらう。なお、子どもに関しては、夏休みの自由研究の作品等として活かしてもらう。</p> <p>【実施内容等】 敷地内にある桂の木の葉を使用し、自由に模様を作成してもらい、その場で染色をしていただく。</p>	1回/年（8月）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
港北区高齢者虐 待防止ネット ワーク連絡会	<p>【対象者】 港北区内介護保険事業者</p> <p>【目的】 地域の居宅サービス事業者に対して、区役所や地域包括支援センターが高齢者虐待対応の相談・通報窓口として認知され、地域のネットワーク構築を図り、区内の事業所と虐待の早期発見や発生予防に向けた連携強化を図る。また関係機関が各所属機関の果たすべき役割を理解し、連携して対応していくことを目的として開催。</p> <p>【実施内容等】 ・高齢者虐待対応の相談・通報窓口としての説明 他</p>	3回/年（6月29日・8月24日・12月13日）

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
港北区高齢者虐待防止ハンドブック活用研修	<p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港北区内の介護保険事業者や民生委員児童委員等 <p>【目的】</p> <p>虐待の発生予防や関係機関同士が連携して虐待対応をおこなうことを目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の定義 ・港北区高齢者虐待防止ハンドブック活用について 	<p>3回/年 (11月12日、 1月15日、1月 22日)</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
師岡民児協とケアマネジャーとのランチ交流会	<p>【対象者】</p> <p>樽町地域ケアプラザ担当エリア及び近隣のケアマネジャーと師岡地区民生委員児童委員</p> <p>【目的】</p> <p>ケアマネジャーと民生委員児童委員の情報提供・意見交換の場を設定し、地域における関係機関とケアマネジャーとの連携体制構築を目的とする。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽町地域ケアプラザの役割 ・ケアマネジャーの役割 ・ケース事例紹介後グループワークにて意見交換 他 	<p>1回/年(2月)</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
基礎から学ぶ剪定講座	<p>【対象者】</p> <p>地域住民</p> <p>【目的】</p> <p>庭木の剪定や道具の手入れなど実践的に行い、主に男性の地域参加を狙いとする。また、参加者同士の交流も深めてもらう。</p> <p>【実施内容等】</p> <p>講義：樹木の特性や剪定方法、道具の使い方など。 実習：施設内の植栽や隣接するしょうぶ公園の樹木を教材にしながら、剪定実習をしてもらう。</p>	<p>1回/年(2月)</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉まつり	<p>【対象者】</p> <p>地域住民</p> <p>【目的】</p> <p>地域の福祉保健活動をより身近に感じてもらい、理解を深めてもらう。またこれまでに構築した地域の皆様のつながりや信頼関係を一層高め、さらに各地区の皆様の保健活動の充実と向上に寄与する。</p> <p>【実施内容等】</p> <p>健康測定会、高齢者体験、ふれあい広場花しょうぶカフェ、軽食販売、家庭防災員によるローリングストック法実演、障害者施設作品販売、バルーンアート体験、師岡子ども学習会による実験コーナー、デイサービス折り紙体験とシナプソロジー体験、4地区活動紹介(パネル展示、チラシ配架)</p>	<p>1回/年(2月)</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市樽町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士による 成年後見・遺言・相続無料相談会	【対象者】 地域住民 【目的・実施内容】 相続、遺言、成年後見など専門的な相談を身近な地域の中で受ける事ができる機会の提供。成年後見制度の普及啓発を目的とする。コスモス成年後見サポートセンターの協力を得て区内ケアプラザ、区役所、区社協にて巡回相談会を実施。	1回/年 (1月26日)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	